



飛び散る銀りに 思わず力が入る

栄地区老人クラブ（会員 160人）が生きがい対策事業としてとり組んでいる鯉の水揚げを11月4日、滝の沢養鯉場で行いました。10年前から始めたもので、丸々に太った体長40センチほどの鯉に老人たちは目を細め、今年は2トンの水揚げが目標とあってタモをにぎる手に力が入り、どの顔も生き生きしていました。

人口と世帯数

（住民基本台帳による）

10月31日現在	（前月比）
総人口 24,452人	（3人増）
男 11,912人	（3人増）
女 12,540人	（増減なし）
（出生 19人 転入 49人）	
（死亡 24人 転出 41人）	
世帯数 7,294世帯	（3世帯増）

財政 白書

上半期（4月～9月）の

まちの台所は

63年度一般会計

予算額 56億9150万2千円

収入済額 29億4791万7千円

収入率 51・8%

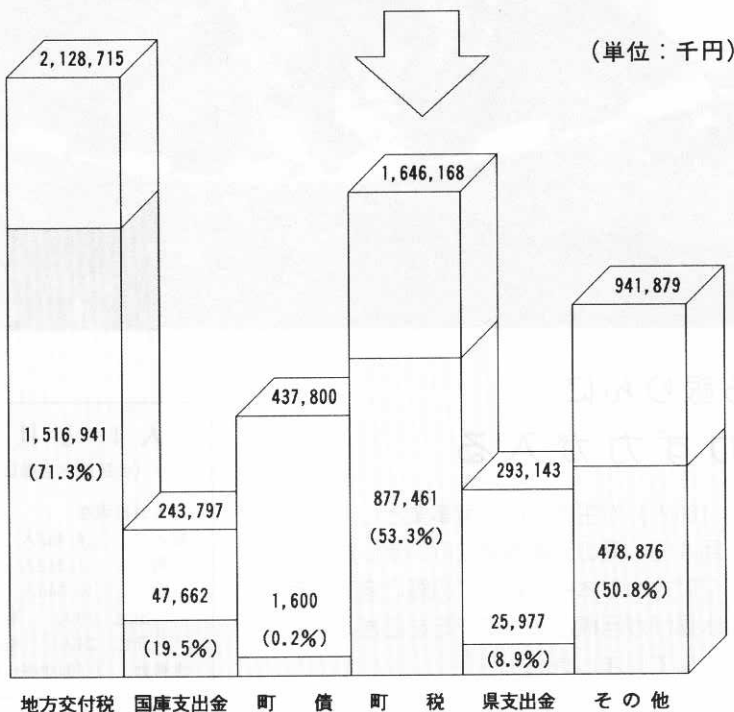
昭和63年度

一般会計

住民の負担状況（9月末現在現年度分調定額…間接税除く）

町民税	6億7834万2千円
固定資産税	6億7089万2千円
軽自動車税	1857万円
木材引取税	202万4千円
	13億6982万8千円

一世帯当り 187,879円 一人当り 55,914円



町では、地方自治法と町条例に基づいて十一月一日、昭和六十三年度上半期（四月～九月）における財政状況を公表しました。
この白書は、みなさんの生活に密接なつながりをもつ町の家計簿です。もう一度、町の予算や財政がどうなっているか考えてみましょう。

上半期(4月～9月) に完了した主な事業

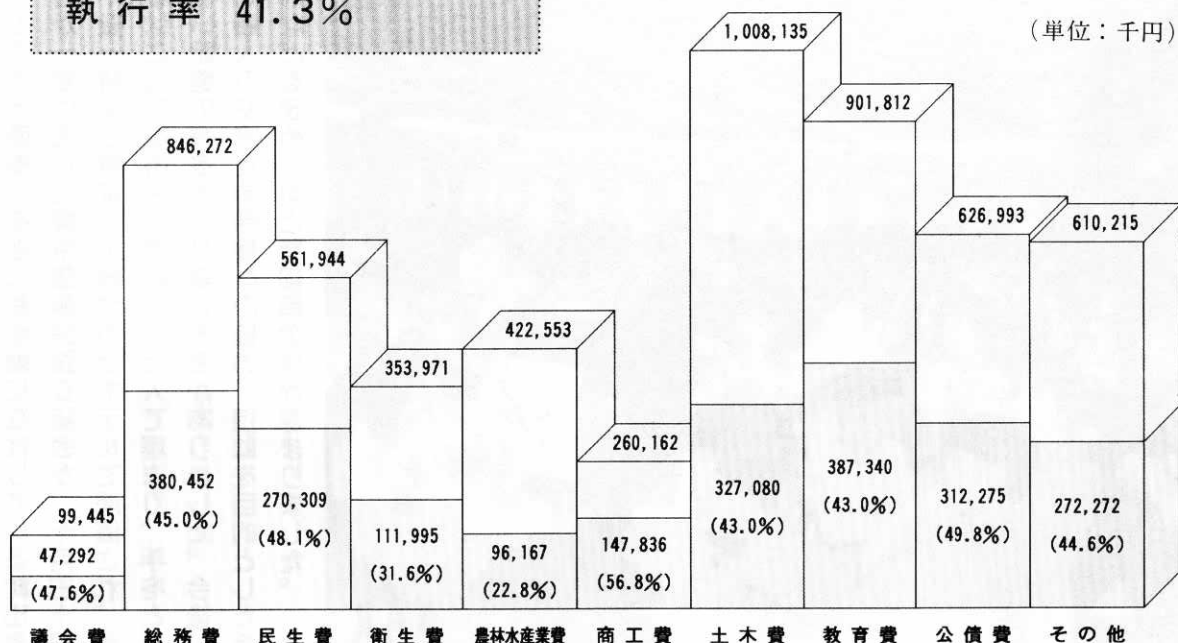
議場改修工事…………… 6,887千円
 団体営農道整備工事…………… 7,640千円

道路改良舗装工事…………… 136,980千円
 河川公園整備事業…………… 18,037千円
 小中学校施設整備工事…………… 23,365千円
 鷹巣勤労者プール改修工事…………… 12,910千円
 農林業施設災害復旧工事…………… 14,532千円

予 算 額 56億9150万2千円

支出済額 23億5301万8千円

執 行 率 41.3%



変化である。この大会は両町の競技水準を著しく高め、親善にも一役を果たした。

■18日(火)～26日(水) 全国道路利用者会議が沖縄県那覇市で開かれ出席した。大会終了後沖縄本島の道路視察に参加。本島の鉄道は皆無であり、道路密度は高く、昨年の国体に合わせ高速道路も開通し全島が一大観光地として大きく整備されつつあった。次いで、県町村会の研修視察として、



市長 日誌

出川 禮一

10月16日～30日

■16日(日) 八郎潟町との交歓テニス大会。昭和四十四年より両町の庭球クラブの提唱で毎年、両町交互に開催されたこの大会も、今年で二十回を迎えた。発足後十年位は、中学・高校男女を主体とし、一般は男子のみの種目であったが、その後四十代から六十代の男女が主体となった。特に、ママさん達の参加が多く、時代の背景を受けた一つの

立総会。昨年来各地区会の結成も進み、今回の開催となった。首都圏在住者中、約三百余人余が参加し、会則、役員人事等を決定し、懐かしく和やかな交流パーティーであった。首都圏に在住しながら案外交流の機会が少なく、会結成の呼びかけもないまま現在に致ったわけで、今後年一回程度の会合が自主的に開かれる道が整い、参加された皆さんに心から感謝を申し上げたい。

大分県湯布院町及び熊本県阿蘇町を現地視察した。

■28日(金) 獣魂祭。年一回食肉センターにて屠殺された、一万六千頭余りの家畜の鎮魂の神事を行った。

■29日(土) 第二回ふれあい広場。生憎の雨であったが、広域交流センター内で身障者等と健常者の和やかな交流が行われ、お互いに理解と認識が深まった。

■30日(日) 東京鷹巣会設

なつかしきふるさと

鷹巣を想いてはせよ

東京鷹巣会いよいよ発足



“ふるさと鷹巣”を後に首都圏に在住している町出身者が一堂に会した東京鷹巣会設立総会が、十月三十日午後一時より東京・上野タカラホテルで開催され、会場はこの日を待ちこがれていた人で埋まり、手を取り合い記憶の糸をたぐり寄せる姿がありました。今後、同郷人の交流と町発展への協力、援助を目的とした会則などを定め、町と首都圏の絆が深まりました。

鷹巣に生まれ育ち、現在首都圏に在住している人たちは三千人以上とも言われています。その人たちの「心のふれあいの場」ともなる東京鷹巣会結成に向け、昨年からは旧町村単位に推進母体となる地区会の組織化を進めてきました。今年五月で全地区の結成を見るにいたり、地区会の代表で設立準備会を組織し各地区会が「ひとつの輪」になる東京鷹巣会設立にこぎ着けました。

設立総会会場となったタカラホテルには二七二人の首都圏在住者と、町から出川町長、今川町議会議長、五代儀商工会長、六農協の組合長など総勢三百人を超える人が参集しました。席上、設立準備会を代表して千葉秀雄さん（沢口出身）が「念願であった在京の町出身者が一堂に会し、感動となつかしさでいっぱいです。本来であれば私たちが組織すべきですが、町当局の大きな力添いがあり実現できました。今後は多少なりとも郷土に恩返しをしたい」とあいさつを述べ、赤坂侑子さん（綴子出身）の設立までの経過説明に続き、あいさつに立った出川町長は、町の近況を報告し「企

業誘致や町活性化の面からもみなさんの協力を賜りたい。会設立は町にとっても大変意義深いものがあり、これを契機に絆をさらに深めてほしい」と述べました。

この後、会の目的を「会員相互の親睦を図るとともに、郷土との交流を深め、会員及びふるさと鷹巣町の繁栄に資する」と定めた会則や、役員の選出を行い満場の拍手で承認されました。

続いて八十八歳を迎えた岩川俊次郎さん（鷹巣出身）の乾杯の音頭で懇親会に入り、古里談義に花を咲かせました。「鷹巣産の地酒“は人氣が集中し、またたくまに空っぽ。なつかしい味に舌鼓をうち、鷹巣弁が飛びかい飲むほどに、マイクをにぎる手に力が入り、自慢のノドを披露する人は引きも切らず。

一方、各テーブルでは古里を後に三十年、四十年という人が多く、「あの人はどうしている」「こんな事もあったけ」と昔話はつきず、心は若い頃に戻ったようです。また、「年をとるにつれ古里がなつかしくて」と手を取り合ったり、住所をメモする姿もありました。

午後四時すぎ全員で秋田県民歌を声高らかに合唱し、万歳三唱で閉宴となりましたが、各地区ごとに記念写真をとったり、手を握りしめ再会を約束していました。どの顔も名残り惜しそうです。帰りには全員に六農協からあきたこまち、町からのれん、エースフーズからドライビーフのおみやげがあり、思い思いに都会の雑踏の中に帰っていき

役員は次の方がたです。任期は二年、(一)内は出身地区です。

▽会長千葉秀雄(沢口) ▽副会長小坂隆雄(栄) 赤坂侑子(綴子) 篠内隆一(七座) 藤島文行(坊沢) 佐藤忠一郎(鷹巣) 長岐克男(七日市) ▽幹事長小塚茂(鷹巣) ▽副幹事長篠内輝男(七座) 大川勝男(綴子) 田村輝夫(栄) ▽幹事島山文雄(沢口) 佐藤多美子(鷹巣) 永井幸雄(坊沢) 岩谷政義(綴子) 松岡貞雄(栄) 加藤タマ(七日市) 三河千恵子(七座) ▽監査津谷俊三(坊沢) 工藤尚子(鷹巣) ▽顧問出川禮一(町長) 今川清太郎(議長) 成田富治郎(鷹巣) 岩川俊次郎(鷹巣) 高橋勇蔵(栄)



▲各地区ごとに用意されたテーブルは、時間がたつにつれ“大きな輪”になった

▼互いに名刺を交換したり、住所をメモする姿がいたるところにありました



▲久しぶりの友に時のたつのも忘れる



▲東京鷹巣会の中軸となる役員が紹介される



政府では、秋の生存者叙勲受章者を十一月三日発表しました。当町からは長年地

秋の生存者叙勲で

佐々木氏が勲五等瑞宝章

域住民の食生活向上や健康づくりに大きく寄与された。材木町一〇―二五、佐々木正義氏(73)に、食品衛生功労者として勲五等瑞宝章が贈られました。

「佐々木氏の主な経歴」

昭和二十三年総合食品店を開業以来健全な経営とともに、食料を取り扱う業者として、常に食品衛生面には配慮、設

備の近代化、従業員に対する衛生教育等、食品衛生に對する手腕、努力が認められ、現在、「秋田県食品衛生指導員」として活躍中で、食品衛生思想の普及、食中毒予防の徹底につとめ、鷹巣保健所管内の食品業者のリーダーとしての役割を果している。

この間、鷹巣食品衛生協会の設立に参画し、昭和三十五年から同協会事務局長、昭和五十年から現在まで同協会会長を務めている。

ふれあい広場に 2,000人が集う 「ひろがれぬくもりの輪」



「ひろがれぬくもりの輪」をテーマに、第二回ふれあい広場が十月二十九日、鷹巣阿仁広域交流センターで開かれ、時おり雨まじりの肌寒い天候でしたが、二千近い町民でにぎわいました。

「ふれあい広場」は障害者と健常者の心のふれあいを通しお互いの理解を深めることを狙いとし、町社会福祉協議会が中心となり、昨年に引き続き開催したものです。

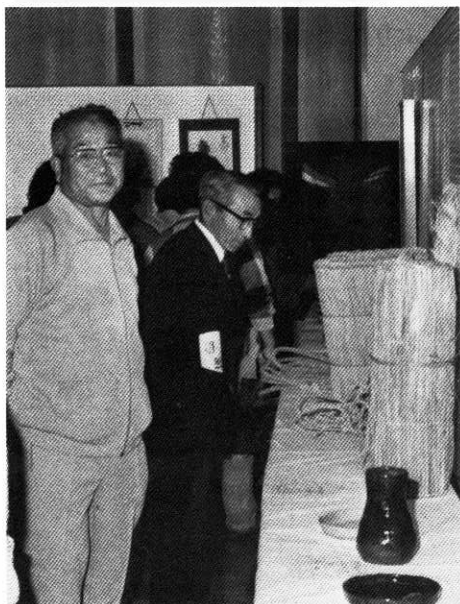
会場となった広域交流センターには、障害者や老人クラブの絵、書などの作品が展示されたほか、健康相談や福祉

相談、映写の各コーナーが設けられ、中でも、北秋盲人会鷹巣支部によるマツサージサービスにお年寄りたちは「疲れがとれた」とニッコリしていました。

多目的ホールで行われた、「ふれあい演芸大会」では老人クラブや身障者協会、婦人会、ボランティアの歌や踊りが次々と披露され、とび入りも出るなど満員の観客から大きな声援を受けておりました。

このほか、一般から募った

「赤い羽根チャリティバザー」も大好評、約四百点の出品物がとぶよな売れ行きを見せ、ロータリークラブ、ライオンズクラブ等の会員も応対に大わらわでした。



▲玄人はだしの作品に見学者はしばしば足を止める



▲チャリティバザーは人でいっぱい

第六回秋田内陸縦貫駅伝大会

鷹巣勢が大活躍

晩秋の阿仁路に健脚を競う第六回秋田内陸縦貫駅伝大会が、阿仁町を出発点とする一般13、高校2チーム、森吉町



〈高校〉鷹巣農林高校A



〈一般〉鷹巣陸協



〈女子〉鷹巣農林高校

を出発点とする女子10、マスターズ10チームが一路鷹巣体育館をめざしスタートし、特に女子の鷹巣農林と鷹巣南中はデットヒートを展開。ゴール付近は産業祭見学の人もドツとくり出し健闘をたたえていました。(町関係のみ掲載)

〔一般の部〕34・8⁺
①鷹巣陸協(高橋喜久雄 宮腰正樹 中嶋力蔵 熊谷芳広 熊谷初夫 中嶋忍) 1時間57分23秒 ③ガクヤテキスタイル ⑦綴子走友会A ⑧沢口走友会 ⑨坊沢走友会 ⑪鷹巣町役場 ⑫綴子走友会B

〔高校の部〕34・8⁺



〈マスターズ〉綴子走友会A

①鷹巣農林高校A(鈴木博 小林勝 柳谷孝宏 佐藤浩二 岩淵誠 宮腰明) 1時間51分20秒 ②鷹巣農林高校B

〔女子の部〕18・5⁺
①鷹巣農林高校(中嶋ひとみ 野呂陽子 成田久美 沢藤榮里 藤本弘栄) 1時間8分13秒 ②鷹巣南中学校 ③鷹巣中学校

〔マスターズの部〕18・5⁺
③綴子走友会A(斉藤和治 今川金作 佐藤正憲 鈴木一弘 出川吉弘) 1時間7分48秒 ⑤沢口走友会 ⑥七日市体育振興会 ⑧坊沢走友会 ⑩綴子走友会B

全国青少年強調月間

11月1日～11月30日

あなたのまちで、

わたしのまちで

伸びよう 伸ばそう 青少年



農家の皆さんへお願い
水利費、共同作業費、転作

互助に伴う拠出金内訳書の届出

町では申告事務を円滑に進めるため、共同施設(個人も含む)による農業諸経費を、各農家の方々より先に提出していただいております。

昨年届出されたの方々には用紙を送付しますが、今年新たに実施した団体及び個

人の方々は、経費の明細書、領収書、償還金年次表、購入明細書等を添付し、十一月末日まで税務課町民税係へ届出ください。

問い合わせは、税務課町民税係(☎六二一一一一 内線一六二)へ

文化祭と

産業祭に



◀17回目を迎えた邦雅祭。六百年余りの歴史を持つ「能」の歌謡として、日本の心を綴ってきた謡曲（うたい）

「おばあちゃんこれボク作ったんだよ」力作ぞろいの小中学校作品展 ▼



▲生涯学習展には日頃の「集大成」がズラリ



町の総力を結集した第二十回文化祭と第八回産業祭が十一日、日から四日まで開催され、ミソレ混じりの悪天候にたたられながらも、約一万四千人の入出でにぎわいました。

「人と街を育む文化を考える」をテーマに中央公民館を主会場に行われた文化祭は、各地区の伝承芸能を皮切りに、生花、茶席、銘石展など展示と演示がくり広げられ、日頃の成果を発表していました。昔なつかしい無声映画も上映され、大館市在住の元活弁士鳥潟幸蔵さん（81）の名調子に、当時を思い浮べる人も多いようでした。また、「町の歴史探訪の旅」と銘打った文化財めぐりは、この機会に見学しようと連日満員の盛況。

広域交流センターや鷹巣小学校では、絵画や手芸、生徒の作品展、学芸発表会などに親子連れが足を止めていました。

一方、「地域おこしはみんなの力で」をテーマとした産業祭は鷹巣体育館で行われ、農産品や銘木、木工品などがスラリ展示され、参観者はみごとに出来ばえに感心していました。また、町を代表する産業となった縫製関連44社は「アパレルの町たかのす」をPR、Tシャツ製作体験コーナーも設けられ人気を集めるとともに、誘致企業秋田サンリッツも自社製品を展示、高校生が訪れ説明を聞く光景も見られました。

サブ体育館は講演やカラオケ大会のイベント会場として好評。プールではお菓子などのみやげ品や、夕市会の漬物、もち類、吉野子供の村の衣類などの販売が行われ、袋いっぱい買い込む人もありました。

町民が一堂に会し、息づく鷹巣の文化と産業をたん能したようです。



▲「自分でTシャツを」とアパレル振興会の体験コーナーでは、係員が手を取り指導

▼農産品はどれもツブぞろい。農家の関心を集めていました



町の活力を総結集

◀さながらミニ交換会の様相を呈した主会場



第19回全国高等学校バスケットボール選抜東北地区予選大会

■期日 11月25日(金)～27日(日)

■会場 鷹巣体育館 鷹巣小学校 南中学校

■参加 東北六県より男子12チーム 女子12チームが参加します。

秋田市以外での開催は初めてであり、能代工業など全国レベルのパワフルな試合をご覧ください。

老人保健制度

私たちみんなの

医療費を大切に

老人保健制度は、老後における健康の保持と適切な医療の確保を図るとともに、壮年期からの疾病の予防、医療、リハビリテーションなどの保健サービスを総合的に実施し、国民保健の向上・老人福祉の増進を図ることを目的とした制度です。

医療の対象となる人

七〇歳以上（寝たきり老人の場合六五歳以上）の方は、所得、医療保険の種類に関係なく、老人保健法によって医療を受けることができます。しかし、老人保健法によるからといっても、健康保険の被保険者でなくなるわけではありません。

医療を受けるには

▼老人保健法医療受給者証と健康保険証が必要で、

病院・医院などで診療を受ける時には、必ず「医療受給者証」、「健康保険証」と「健康手帳」を一緒に受付窓口に

提示しなければなりません。

「医療受給者証」によって受診資格を、「健康保険証」によってどの医療保険の加入者であるかを明らかにするためです。

▼一部負担金が必要です。

老人保健の医療を受ける人は、次の一部負担金を医療機関の窓口で支払うことになっています。

- ▽外来……一カ月につき八〇〇円（医療機関ごとに月の最初の診療日に支払います。また、総合病院では、各診療科ごとに支払います）
- ▽入院……一日につき四〇〇円（ただし、老齢福祉年金受給者で町民税非課税世帯は、一日三〇〇円を二カ月の限度で負担します）

いつまで有効か

▼こんなときには十四日以内に役場に届出をしなければいけません。

▽七〇歳になったとき……健康保険証と印鑑をそえて届出

をします。

▽他の市町村から転入したとき……健康保険証と印鑑をそえて届出をします。

▽他の市町村へ転出するとき……健康保険証・医療受給者証・健康手帳と印鑑をそえて届出をします。

▽町内で住所を変更したとき……健康保険証・医療受給者証・健康手帳と印鑑をそえて届出をします。

▽死亡したとき……死亡者の遺族は死亡者の健康保険証・医療受給者証・健康手帳と印鑑をそえて届出をします。

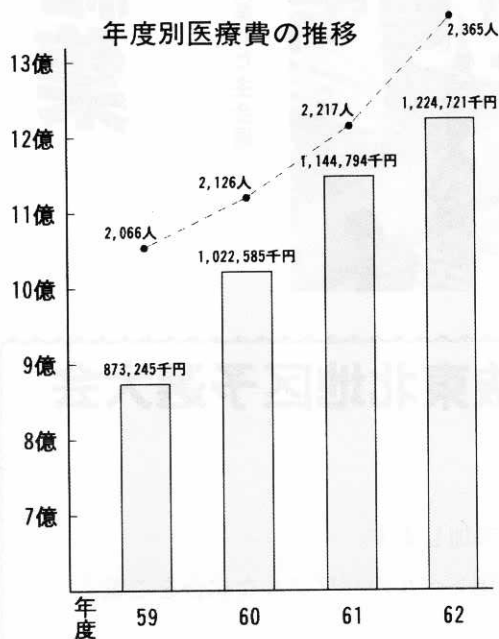
▽六五歳以上の人が寝たきりになったとき……身体障害者手帳、国民年金証書または医師の診断書に健康保険証と印鑑をそえて申請します。

▽医療保険が変わったとき……新しく変わった健康保険証、医療受給者証・健康手帳と印鑑をそえて届出をします。

▽医療受給者証の有効期限が切れたとき……健康保険証、医療受給者証、健康手帳と印鑑をそえて届出をします。

（現在持っている医療受給者証の有効期限が切れていないか確認してみてください）くわしくは保健課国保係（六二—一一—内線一三三）へ。

年度別医療費の推移



62年度内訳

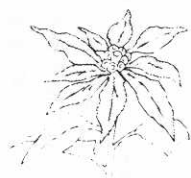
(単位：円)

区 分		件 数	費 用 額
診 療 費	入 院	2,182	692,865,050
	入 院 外	27,003	276,720,370
	歯 科	1,184	17,678,620
調 剤		19,447	232,515,325
看護等支給費		406	4,941,678
合 計		50,222	1,224,721,043

一人当たりの受診件数	21件
一人当たり費用額	517,852円
一件当たり費用額	24,386円

まちの老人医療費の状況

おしろせ

母子健康手帳
交付と妊婦教室

妊婦を対象とした、母子健康手帳、妊婦教室などの日程は次のとおりです。

▽日程〓十一月二十一日 ▽
受付時間〓午後零時三十分から一時(終了時間三時) ▽
妊婦教室内容〓妊娠中の栄養、母乳栄養、母子健康手帳の使い方、映写、むし歯予防
▽持参品〓印鑑、歯ブラシ
▽場所〓中央公民館保健相談室

健康大学開設

鷹巣地区を対象に開設している「健康大学」は次の日程です。ぜひ受講してください。
▽十一月十八日〓生涯学習と健康づくり、体験発表、閉講式。

時間は午後一時から四時まで

精神衛生展

で、場所は中央公民館ホールです。

公立米内沢総合病院では、「アルコールと心の健康について」の精神衛生展、講演会等を開催いたします。

多数ご参加ください。

▽日時〓十一月十八日(金) 午前十時～午後六時
▽場所〓森吉町コミュニティセンター

◆講演〓「アルコール問題について」(午後二時から)

◆映写会〓①酒を飲む人、飲まれる人 ②アルコール中毒

◆健康相談〓体重、身長、血圧測定、心の悩み等

県の最低賃金は
三千四百二十四円

県内で働くすべての労働者に適用する。秋田県最低賃金が次のとおり改正されました。

最低賃金額は、一日〓三千四百二十四円、一時間〓四百二十九円です。

住宅実態調査に
ご協力ください

建設省では、十二月一日に全国にわたって「昭和六十三年住宅需要実態調査」を行います。

この調査は全国の家庭の皆さんが、住宅について日頃どのようにお考えになっているか、また、住宅の改善についてどのような計画をお持ちになっているかなどを伺うもので、国や地方公共団体の住宅施策を行ううえで重要な資料となるものです。

十一月二十四日から十二月七日までの間に調査員がお伺いしますのでよろしくご協力をお願いします。

この最低賃金額より低い賃金で、労働者を使用することはできません(十月十四日以降)。もし違反した場合は、最低賃金法により罰せられます。

不明の点は秋田労働基準局賃金課(☎〇一八八―六二―六六八―)へ



新しい。美しい。暖かい。
11月は伝統的工芸品月間

夜間当番医(夜間診療)日程表

(午後6時30分～9時)

11月	曜日	日	医療機関名
15	火		戸嶋医院
16	水		戸嶋産婦人科医院
17	木		近藤医院
18	金		藤原医院
19	土		北秋中央病院
20	日		佐々木産婦人科医院
21	月		佐藤外科消化器科医院
22	火		奈良医院
23	水		盛岡外科医院
24	木		戸嶋産婦人科医院
25	金		戸嶋医院
26	土		近藤医院
27	日		北秋中央病院
28	月		奈良医院
29	火		藤原医院
30	水		佐藤外科消化器科医院

(急患以外は受け付けません)

清掃巡回指導日程表

自分の管理する土地、建物、畜舎、鶏舎、堆肥場、肥料溜、汚水溜、し尿浄化槽などの清掃を実施してください。

月日	曜日	鷹巣地区	その他地区
11.21	月	伊勢町・旭町・宮前町・東横町	栄地区全域
22	火	元町・松葉町	坊沢地区全域
24	木	大町・米代町・住吉町・花園町・材木町	七座地区全域、綴子地区(田中・新田中・南田中・向黒沢)
25	金	南鷹巣・西陣場・舟見町・新舟見町・西上綱・幸町・内幸町	綴子地区(24日以外の地区)
28	月		沢口地区全域
29	火		七日市地区全域

※問い合わせは、保健課衛生係(☎62-1111・内線136)をお願いします。

生涯学習を支える 57団体とグループ



公民館が参画している、各種の学級、定期講座とは別に、まったく自主的に企画運営され、活発な活動をしている団体やグループが町内に五十七団体あります。

各団体・グループは次のとおり。()は代表者名です。

▽古典を読む会(長崎佐太吉)
▽地方史研究会(二階堂善三)
▽読書会(長崎佐太吉)▽短歌会(下野愛禪)▽俳句会(藤島まさと)▽鷹画会(神成正雄)▽絵画クラブ(成田智枝)
▽日本絵画同好会(今川定雄)
▽フォートクラブ(上関恵治)
▽北の風写真同人(村上信夫)
▽役場カメラクラブ(藤島源)

▽鷹巣カメラクラブ(花田稔)▽沢口書道会(佐藤昭一郎)▽毛筆講座(長崎瑞彦)▽さやか人形教室(成田明子)▽県北愛石会(津谷佳男)▽謡曲研修会(嶺脇新一)▽吟修会(小笠原吉郎)▽民謡研究会(佐藤勇)▽長唄三味線同好会(本間宣道)▽民謡三味線尺八研究会(藤島茂治)▽松生派鷹巣支部(三沢静子)▽嵯峨御流松山社中(松山ミキ)▽池の坊高橋社中(高橋柳水)▽華道池の坊渡辺社中(渡辺ミツ)▽表千家鷹巣和恵会(佐藤ヨシ)▽狭山流お煎茶(佐藤則子)▽裏千家一関社中(一関トク)▽竹青華道会筒井社中

(筒井キミ)▽日本礼道小笠原流煎茶(河田喜美子)▽山岳会(金沢聡)▽農業近代化ゼミナール(近藤寿男)▽生田流箏曲三絃碇谷社中(碇谷あえ)▽箏曲宮城会佐林社中(佐林恵美子)▽花柳流登巴栄会鷹巣支部(花柳登巴栄)▽日本舞踊藤蔭流たかのす鳳扇会(米倉幸美)▽花柳真貴夫一門(武内フク)▽千川流(小塚アヤ)▽民謡舞踊講座(小塚アヤ)▽商工会若葉会(湊屋正子)▽パレエ教室(戸松くみ子)▽社交ダンス講座(神成強)▽鷹巣ばやし普及会(松尾昭利)▽混成合唱団(松尾昭利)▽鷹巣室内合奏団(岸部陸)▽太田番楽連中(松尾和一)▽綴子上町大太鼓保存会(小松惣一)▽坊沢獅子踊り保存会(戸沢昭司)▽和太鼓保存会・鼓道(今立明)▽ボランティア(中林三千夫)▽婦人ボランティア(佐藤繁子)▽手とサークル「みずたまり」(福田奈保子)▽フオークダンス協会(佐藤周治)▽岡田流大正琴鷹巣同好会(堀部秋)▽大正琴講座(戸沢恭)▽大正琴同好会(上遠野克子)▽しゅんこうちぎり絵教室(小熊久雄)▽鷹巣盆栽愛好会(河田三之丞)

ふるさと

人物伝

桜井報三郎

一九〇一—一九七八



松葉町五四、陸橋わきの⑤桜井商店はかつては、東北、北海道でトップ級の海産物問屋であった。先代報三郎が徒手空拳、自力で築きあげたものである。

勉強家で、視野の広い報三郎は、昭和四十年十一月の秋北新聞に「小畑知事さんへ」の見出しで、「知事はソ連を訪問し、蛋白源として鯨肉を契約してきたそう

が、なぜ向うで捨て値同様の数の子になかったか。安い数の子を仕入れ、都会に出して儲けた金で鯨肉をかうべきだった」と、福井や新潟に比べ経済観念の乏しいことを、多くの例を挙げながら批判している。

明治三十四年、坊沢の桜井家の五男に生まれた報三郎が鷹巣小学校高等科を卒業、現在地に塩干物の店を開いたのは大正十三年であった。働いても働いても、残るのは空箱だけ。彼は意を決して旅に出た。全国各地を見て「商いは相場と物の質の善し悪を知る」と悟ると、思い切った取り引きをするようになった。

戦後は町会議員五期二十一年、独得のユーモアと、時には厳しい態度で建設的な意見を述べる人であった。神社の責任総代としての活躍、秋田銀行の「秋銀会」の結成と会の育成など、数々の業績を残して、昭和五十二年十一月没。

(資料 新聞記事、二階堂善三、息子一氏談)

文責 長崎

久



「すし食エネ〜！」

11月1日「すしの日」を記念し、鷹巣農協で、鷹巣阿仁すし組合主催のすし食い大会が行われ、女性3人を含む30人が挑戦し、正午の時報を合図に「15分1本勝負」が開始。はじめは笑顔の腹自慢も時間が経過するにつれ、額に汗を浮かべ目を白黒させながら大奮闘。優勝は大会記録にあと3個とせまる60個。女性は40個でした。

町出身で第一勸銀取締役や日産農林(株)社長を歴任し、現在も財界で活躍中の成田富治郎さん(73)

の文化講演会が11月5日中央公民館で開催されました。会場いっぱいに詰めかけた町民を前に生い立ちや感銘を受けた書籍、先駆者など古里の山河に思いを寄せながら、読書の大切さと日本人の国際化を念じた講演でした。

我人生を語る



社会福祉事業に寄付

10月27日NTT鷹巣電報電話局は「地域社会福祉の向上に役立ててほしい」と10万円を寄付しました。これは電々公社からNTTに移行した電信電話記念日に社員に支給された記念品代を「広く社会に還元したい」と話し合って決めたもので、

出川町長は「大変ありがたい申し出で有効に活用したい」と謝辞を述べました。

鷹巣阿仁広域食肉センターで10月28日、と殺された豚などの霊を慰める

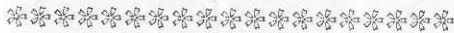
獣魂祭が関係者約30人の

出席のもと、同センター内にある慰霊碑前で行われました。年間15,389頭がと殺されていますが、前年対比で810頭が減っており一日平均62頭となっております。原因は価格の低迷、輸入肉の増加、寒暖の差があり肥育が悪いなどのようです。

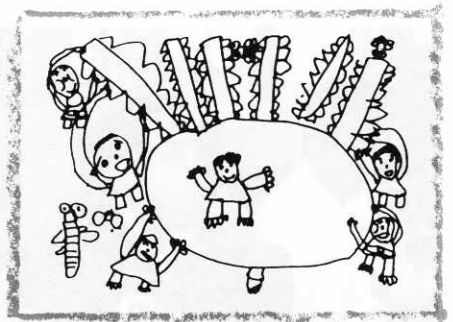
獣魂祭で供養



の広場



北幼稚園
なりたやすゆきちゃん(五歳)



本との出会いは、人との出会いと同じように大切なことだと思っています。
司書を目指した二十数年前、そして、その夢を娘に追い続け「活字にふれる機会を多くしてあげたい」そんな思いがふくらんで、読み聞かせから



小田 京子さん(37歳)
佐藤

娘の本とのふれあい

今月のテーマ『読書について』

娘の本とのふれあいが始まりました。

何でも気軽にサッサとやって手伝ってくれていた娘が、ブイとむくれるようになったのが、「野麦峠」を読むようになった一年前でした。娘はいつまでも親から与えられたことばかりで過ごしたくない。自分自身の人生を送ろうと意識し始めたのです。
そして小学六年になった今、娘の本棚は「タッチ」「ラフ」などのマンガ本でいっぱいなのです。
かくいう私も、難しい本を

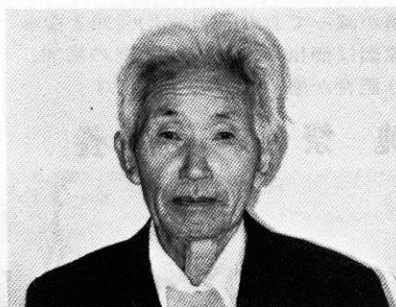
対談 わたしたちの意見



酒を入れた徳利 酒の魅力とその風情

せとものでつくった、重そうなとつくり。「酒がいくら入ったかなあ。」こんなとつくりを下げた歩いた大人の印象があつて、とてもなつかしい。小瀬木酒店、三沢酒店の大きな名入りが目立つ。

〔松葉町 佐藤 富雄さん〕



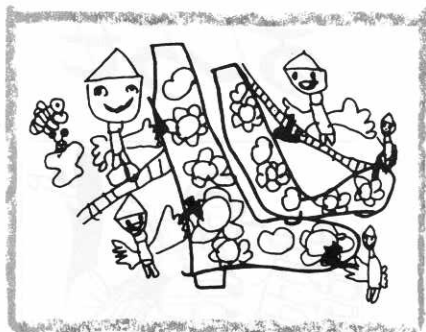
昭和十五年一月から、宮林署に勤めた。その年測量の仕事の縁で当時の内務省仙台土木出張所から、水位観測員の辞令を受けました。
米代川の水位、天気、風向を朝夕六時の二回観測をし、川の水量が警戒水位の三メートルを超えると、一時間おきに観測して能代工事事務所に連絡しなければならぬ。夏は良いが、冬期間の寒さは身にこたえる。それでも今まで続けたのは

わたしの自慢

米代川の水位を見続け四十九年 蟹沢 桜庭 与助さん(77歳)

「だれかの役に立てばええ」という思いからです。
昭和四十七年七月の三日間続いた大雨が観測のやまだった。八日午前三時警戒水位を突破した水は、九日午前八時最高位八メートル九十三センチに達した。十日午前九時まで、一睡もせず観測を続けた。下流の二ツ井町や能代市が大洪水に見舞われた時である。

その後昭和四十九年建設大臣表彰。昭和五十五年四月勲七等青色桐葉章を受章のため、全国より水位関係の五人の内の一人として、夫婦で皇居へ招待されました。天皇陛下の「皆がそれぞれの分野に於いて尽力してくれる事を希望します」というお言葉がとても印象的でした。
天候を気にしながら、今日も川辺に行きます。



北幼稚園
さとう なおみちゃん(五歳)



みんな



読むエネルギーも消え失せ、ミハーの作家「林真理子」とかの小説に、夢中になっているのです。

「はだしのゲン」を読んで



綴子小学校6年 山 祥君

ぼくが初めて本といえる物を読んだのは、二、三年のころで、ちょっと大人になった感じになったものです。

それからというもの、小説からマンガまでなんでも読むようになりました。それでも多く読んでいるのは、すいり

~~~~~

## 広報ののり



お米 毎日食べるこ

おいしいものを、とはだれもが考えることですが、おいしいお米を外観から見分けるのは困難です。

そんなとき、目安のひとつとして利用したいのが、お米の袋に印刷されている表示。ここには、販売価格や重量の

小説などです。そして今、ぼくは「はだしのゲン」という本を読んでいます。

この本で、戦争のかなしさ、ひどさ、そしてなんと言っても、戦後生きぬくきびしさを知りました。ゲンが妹のために、よそへ米をもらいに行ったりしたことは、今では考えられません。周りで人が死んでいくのを見て、ゲンの気持ちとはとてもかなしかつたにちがいません。

この本はマンガの本ですが、戦争をえがく物の中には、小説以上のものがあります。みなさんも読んでみてください。

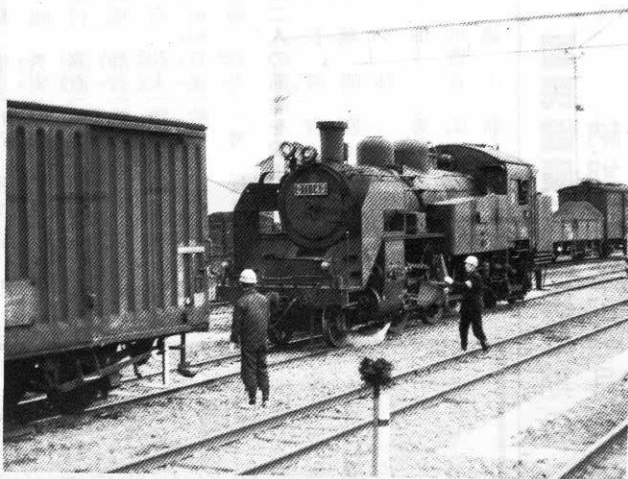
~~~~~

ほか、品質区分、原料玄米など、「おいしさ」に関係した情報が提示されています。

買う時に確認しておきたいのは「とう精月日」これは、玄米から精白した月・日のことで古くなればそれだけ味が落ちます。鮮度は、夏場で一カ月、冬場で二カ月が目安。

お米は直射日光、湿気に弱いので、店での保管状態を見極め、家でも注意して保存するようにしてください。

昭和46年の阿仁合線の蒸気機関車C11である。49年3月まで汽笛を鳴らし力強く走る姿は印象的であった。路線名も秋田内陸線と改称され、来年4月には非願の全線開通にこぎつけ新たな幕明となる。児童公園には、「兄弟分、」が展示され勇姿を今に伝えている。



たかのすの昔

おしらせ



一線美術運営委員 九島京二氏

十一月の健康相談

十一月の健康相談は、次のとおりです。

成人健康相談は二十二日です。時間は午前十時から午後三時までです。

血圧測定のほか尿検査、体重測定など、午後は慢性病予防教室で「お酒の上手な飲み方と酒害相談」を行います。

リハビリ学級は十六日です。

在宅脳卒中後遺症の方を対象に行います。時間は午前十時から午後三時までです。

※場所はいずれも中央公民館保健相談室です。

四力月児健康診査は二十九日です。

対象は六十三年七月生まれ

のお子さんです。小児ガンの早期発見の検査もしますので、必ず受診してください。受付時間は午後一時から一時三十分までです。

離乳食指導と七力月児健康相談は二十九日です。

対象は六十三年四月生まれのお子さんです。受付時間は午前九時三十分から十時まで、母子健康手帳とバスタオルを忘れずにお持ちください。

三歳児健康診査は十七日です。

対象は六十年九月、十月生まれのお子さんです。受付時間は午後零時三十分から一時まで。母子健康手帳、問診票をお持ちください。

※場所はいずれも鷹巣保健所です。

三種混合ワクチンの予防接種

生後二十四カ月から四十八カ月までの出生者を対象に、百日せき、ジフテリア、破傷風の三種混合ワクチンの予防接種を行います。

接種日は、鷹巣地区以外の方は十一月二十四日、鷹巣地区の方は十一月二十五日に行います。

受付時間は、午後一時から二時まで。場所は中央公民館ホールで行います。

おいでの方は必ず母子健康手帳を持参ください。

善意

▽村岡裕紀さん（藤里町）、中村美春さん（鷹巣町大町）から結婚記念として二万円

▽鷹巣電報電話局社員一同からNTT第四回電信電話記念日に伴う寄付金として十万円町社会福祉協議会へ寄付金がありました。

ご芳志に感謝いたします。

香典返し

このほど次のかたから、香

典返しにと町社会福祉協議会へ寄付金がありました。

ご芳志に感謝いたします。

▽住吉町小棚木一公さんから亡父栄幸さんの香典返し

▽摩当岩谷サメさんから亡夫勇三さんの香典返し

▽糠沢山靖雄さんから亡父和一郎さんの香典返し

慶弔だより

10月16日～10月31日誕生おめでとうございます

畠山 大将（智） 長男三ノ渡

小塚 優子（雅行） 長女元町

中嶋 秀実（忍） 二男南鷹巣

田村 義直（義明） 長男舟見町

高橋 静香（錦吾） 二女綴子上町

明石 和（勝美） 長男南田中

山田明日美（敏男） 二女南鷹巣

佐藤 彩香（一博） 長女葛黒

二人の前途を祝福いたします

長岐 幹一 七日市

藤嶋 富士子 合川町

小林 進 羽立

加賀谷 美栄子 比内町

加賀谷 広行 舟見町

畠山 節子 三ノ渡

おくりやみ申しあげます

成田 ハツ（96歳）宮前町

佐々木スエ（77歳）大町

佐藤ヨシエ（68歳）材木町

小棚木栄幸（50歳）住吉町

富樫 葉子（34歳）新田中

千葉長四郎（52歳）中屋敷

山内藤一郎（80歳）糠沢

桜庭 スナ（89歳）蟹沢

佐藤 三蔵（86歳）葛黒

木城谷鶴蔵（63歳）小棚当

藤嶋 ツル（91歳）下町

中嶋 イヨ（75歳）小ヶ田

小塚 ヨシ（82歳）舟場

工藤 敦志 大町

金澤 孝子 田代町

永田 文明 秋田市

工藤 美雪 小田

古関 直樹 あけぼの

佐藤 和子 羽後町

保坂 雅弘 秋田市

中嶋 文子 花園町

水野 悦子 秋田市

及川 勇一 あけぼの

佐々木 智子 堂ヶ岱

桜庭 智子 舟見町

湯澤 聡 鹿角市

村上 カナエ 掛泥向

国民健康保険税五期の

納期限は十一月三十日です